

立茎後前半の管理

【生育状況】

1. 全般的に春芽は低収の産地多く必然的に立茎も前進化されました。
2. 全国的な気温上昇で茎葉仕上がりにや二次側枝の動きも活発です。
3. 夏芽も比較的太物中心です。

【今後の管理】

1. 茎葉は軟弱で過繁茂の圃場はPKゴー2000倍やしリカ水1000倍の葉面散布。
2. 土壌EC (0.7~0.8) を測定して追肥、高い場合は施肥量を減肥若しくは散布間隔を空ける。
3. 地域により茎枯れ、斑点、アザミウマも平年より多くなって来ていますので前半の防除は十分にします。

立茎後の旬日平均気温（久留米アメダス）

